


一般質問通告書

佐野市議会議長 様

		平成 30 年 5 月 24 日	受理者印
		午前 午後	10時 55分 受理 
議会名	平成 30年 第 2 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 13 番 氏名 横田 誠		
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
質問方法 (いずれかを選択してください)	一問一答 ・ 一括質問一括答弁		
大項目(質問項目) 中項目(質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1.入札制度と地元企業の支援制度について (1) 入札制度について	<p>①過去3年間の建設工事、測量・建設コンサルタント等、また物品・役務の提供等それぞれの市内業者、市外業者の落札件数とその金額とその発注比率についての状況を伺います。</p> <p>②市内業者育成の観点から上記の発注比率についてどのように評価をしているのか伺います。</p> <p>③状況を県内13市と比較をした場合、本市の状況についての見解を伺います。</p> <p>④市内業者への優先発注をどのように考え、どのような取り組みを行っているのか伺います。</p> <p>⑤工事品質の確保や下請け業者へのしわよせが懸念される低入札への見解と対策について伺います。</p>		
(2) 中小企業・小規模事業者、ベンチャー企業の支援について	<p>①本市としてどのような体制で中小企業・小規模事業者、ベンチャー企業支援に取り組まれているのか伺います。</p> <p>②新しい技術、独創性ある商品やサービスを開発しようとする中小企業・小規模事業者、ベンチャー企業が、大学などの専門研究機関とつながりやすくするための工夫についてどのような支援が考えられるのか伺います。</p> <p>③トライアル発注制度導入についての見解について伺います。</p>		

2. 学習指導要領改訂への対応と
児童生徒の学力向上策について

(1) 小学校でのプログラミング
教育への対応について

- ①新しい学習指導要領に示されたプログラミング教育について、教員の指導方法や児童の ICT 学習環境の整備について、どのように取り組んでいく考えか伺います。
- ②民間のノウハウを取り入れながら、効果的かつ効率的に教員の指導力向上を図るため、民間プログラミング教室等との連携により、教員への研修を充実させていくことについての考えを伺います。
- ③教員の多忙化が問題視されている学校現場の実情を踏まえると、同教育の指導に当たっては、外部講師や企業等の人材活用が必要ではないかと思いますが見解について伺います。
- ④授業時間の確保に関して、英語の授業時間なども増え、時間割編成や学習の進め方などが重要になるとと思いますが、どのような考えをお持ちか伺います。

(2) 子どもたちが夢を叶えるために、
教育と福祉が連携した学力向上学習支援について

- ①本市の中学校に在籍する生徒のうち、就学援助費受給者は何人いますか、その受給率は何%か伺います。
- ②本市の中学校に在籍する生徒のうち、生活保護受給者は何人いるのか伺います。
- ③本市における過去3年間の全中学生の全日制高校進学率は何%か伺います。
- ④過去3年間の生活保護受給者の全日制高校進学率は何%か伺います。
- ⑤子どもに対して、生活困窮者自立支援制度の国の方針に基づいた、現在の取り組みと、今後の取り組み予定について伺います。
- ⑥全生徒を対象とした(仮称)寺子屋さの塾を設置し、リタイアした教員OBや大学生等を講師に、土曜日などに学力向上と居場所づくりの為の場を無償提供することについての見解を伺います。